

■県の取り組み

【「緑の流域治水」の見える化】 問合せ 県球磨川流域復興局（☎096-333-2610）

令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けた球磨川流域では、自然環境との共生を図りながら流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」に取り組んでいます。緑の流域治水について県民の皆さんに広く知ってもらうため、球磨川流域の地形の特徴や洪水発生メカニズム、具体的な取り組み内容を紹介する動画などのコンテンツを県ホームページで公開しています。



緑の流域治水の取り組みを紹介する動画



県ホームページ

【マイタイムラインの普及促進】 問合せ 県危機管理防災課（☎096-333-2811）

マイタイムラインとは、大雨や台風などの自然災害から身を守るために一人一人が作成する防災行動計画のことです。県では、マイタイムライン普及促進に向けて次の取り組みを行っています。



くまもとマイタイムライン
専用ウェブサイト

- マイタイムラインを手軽に作成できる専用ウェブサイトを開設（令和3年9月）。
- マイタイムライン作成を支援する動画を制作（令和4年10月）。
- 市町村や学校などと連携し、マイタイムラインを活用した防災教育を支援（令和4年度は県内20校で実施）。
- 学校での防災授業を支援するための防災教育フォーマットを作成し、県立教育センターホームページに掲載（令和5年3月）。



【河川の復旧状況】 問合せ 県河川課（☎096-333-2507）

■堆積土砂撤去・河道掘削

球磨川流域の県管理河川では、毎年、出水などで堆積した土砂を次期出水期までに撤去できるよう掘削していて、令和2年7月から令和5年4月末までの累計で約117万m³を撤去しました。引き続き、地元の要望を伺いながら、河川の流下能力の維持を図ります。

■河川情報の充実・強化

球磨川流域の県管理河川では、今年度の出水期に向けて新たに河川監視カメラ11基（LED照明含む）を施工中で、そのうち人吉区間では2基を施工中です。

引き続き関係機関と連携し、地域住民への周知、河川カメラの配置計画の見直しや増設などを行います。



令和2年7月豪雨以降の河川カメラの
設置場所（万江川）



河川カメラの映像（照明設備含む）

防災力強化のための行政の取り組みをお知らせします

■国の取り組み

問合せ 八代河川国道事務所流域治水課（代表 ☎0965-32-4135）

【球磨川の情報を発信しています】

八代河川国道事務所ホームページでは、球磨川のライブカメラや河川水位、雨量、レーダー雨量などの情報を見ることができます。雨が降り始めたら積極的に雨や川の情報を集め、適切な避難行動をとりましょう。



八代河川国道事務所ホームページ

右の2次元コードを読み取るか、「早よ見なっせ球磨川」と検索してください。



早よ見なっせ球磨川（リアルタイム防災情報）

【まちなかの電柱に洪水の浸水深を表示しています】

水害の危険性を知ってもらうために、地域全体をハザードマップと見立てて、生活空間であるまちなかに洪水の浸水深を表示する取り組み「まるとまちごとハザードマップ」を進めています。



設置の様子



人吉郵便局前



熊本銀行人吉支店前



青井阿蘇神社



令和2年7月水害で浸水した深さを電柱に表示しています。住んでいる地域に浸水深が表示されている電柱があったら、次の3つを確認してください。

- ①令和2年7月豪雨でどこまで浸水したのかを確認。
- ②浸水深は何mで、どこまで浸水するのかをハザードマップで確認。
- ③避難先をハザードマップで確認。

【コミュニティタイムラインづくりに取り組んでいます】

コミュニティタイムラインとは、町内会や自主防災組織の会長や役員が中心となって、住民が水害発生に備えて事前に取り組むべき防災行動について整理し、まとめた地域の防災計画のことです。防災計画を作りたいという町内会や、八代河川国道事務所または市防災課までお問い合わせください。

現在、西瀬校区で
取り組んでいます



町内ごとに作業



危険な箇所などにシールを貼る



浸水範囲を確認